

平成22年度 行財政再生シート

NO. 18

項目名	常滑焼まつり協賛会	事業名	常滑焼まつり協賛会補助事業
担当部	環境経済部	担当課等	商工観光課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **69 円** です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	常滑焼を広く宣伝・紹介し、年に一度のお客様への感謝祭として開催			
(2) 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・とこなめ競艇場及びセラムールの2会場を中心に開催 ・出店団体 14団体218事業所 ・常滑焼の大即売市、大花火大会（昭和51年～）、協賛団体の各種催事など 			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
		2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	
	○	3. 団体等への補助金により実施	実施主体	常滑焼まつり協賛会
		4. その他（ ）		
(4) 実施期間など	開始年度	昭和41年度	終了予定年度	予定なし
(5) 根拠法令など	・常滑市観光振興計画(H21.3)で、イベント拡充を位置づけ。			
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	○知多市町の産業まつり（全体事業費(補助金)） ・半田市1,345万円(550万円)、東海市1,800万円(1,208万円)、大府市2,100万円(1,780万円)、知多市930万円(790万円) ・阿久比町160万円(160万円)、東浦町1,100万円(950万円)、南知多町560万円(町補助320万円)、美浜町300万円(250万円)、武豊町730万円(650万円) ※常滑焼まつり955万円(320万円)			

2. 事業費の推移

(千円)

-		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	4,000	4,000	3,600	3,200	
	人件費※	正規	0.1	0.1	0.1	0.1
		再任	696	679	600	600
		臨時	0	0	0	0
		臨時	0	0	0	0
支出計		4,696	4,679	4,200	3,800	
財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	4,696	4,679	4,200	3,800	
市民1人あたり(円)★		85	85	76	69	
投資事業費	全体事業費		～H22末見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22末見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員 : H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円
 ・再任用職員 : H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円
 ・臨時職員 : H19～H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	<第41回> ・来場者31万人 ・売上8,500万円 ・常滑焼CAFE ・招き猫大集合 ・やきもの道場 ・アポロ・ボーイズライブ ・ティエラブランカライブ ・大花火大会	<第42回> ・来場者15.2万人(花火除く) ・売上9,700万円 ・常滑焼うどんグランプリ ・やきもの道場 ・フー&JAL・ANAと遊ぼう! ・ドアラ&シャオロン, チアドラゴズショー ・チャリティーオークション ・大花火大会	<第43回> ・来場者16.3万人(花火除く) ・売上7,900万円 ・常滑焼うどんグランプリ ・やきもの道場 ・フー&JAL・ANAと遊ぼう! ・吉本お笑いステージ ・ふれあい動物園 ・大花火大会 ・セントレア盆踊り	<第44回> ・来場者 未定 ・売上 未定 ・常滑急須実験室「お茶ラボ」 ・常滑焼うどんグランプリ ・東海よしもとオールスター夢の競演&グランプリ組み合わせ抽選会 ・焼き物チャリティーオークション ・大花火大会
成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・常滑焼の宣伝、即売に大きく貢献。 ・大花火大会は市民協賛花火も打ち上げ、家族皆で楽しめる市最大のイベント。 ・焼き物業界以外の学校や企業等も協賛し、市を挙げてのお祭り。 ・国際交流イベントも同時開催され、国際化へも貢献。 ・愛知県民が9割(その内知多半島5割)、家族連れ8割、リピーター7割など、定着している。 			

4. 事業の必要性

必要性	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	類似(代替)事業が存在しない
	4	実施目的が未達成である	政策・施策の中で優先度が高い	受益者が多く市民ニーズが高い
		市以外では実施不可能である	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
	廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・本補助金を廃止または減額した場合、まつり協賛会の活動が縮小され、常滑焼まつり全体の存続も危ぶまれる。 ・市民や焼き物ファンが毎年、楽しみにしている夏のイベントであり、影響は想像できない。 ・常滑焼業界全体への影響も考えられる。 		
想定される代替事業	○	なし		-
	市既存事業の活用	市(担当課)		
		既存の事業		
	民間事業の活用	想定事業主体		
代替事業				

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<ul style="list-style-type: none"> ・昭和41年から市の地場産業・常滑焼の振興を目的に、常滑焼まつり協賛会(事務局：商工会議所)が中心となって実施している市最大のお祭りであり、2千発の大花火大会もあり、市民・知多地域の人々の夏の風物詩。 ・市の代表する「常滑焼」を全国的にPRし、来訪者をおもてなしできる市最大のイベントへ成長。 ・現在の補助金は不可欠であり、継続する必要がある。
--